

大きくなった実を収穫すると、嬉しそうにお友だちや保育者に見せていた。収穫物は園児が家に持って帰り、お家で調理してもらって食べることで、子どもたちが栽培をしたことの喜びなどを保護者とも共有できるようにした。自分たちで育てたピーマンを保護者に見せ、うれしそうな表情で持ち帰る姿があった。持ち帰ったピーマンをどのようにして食べたのか聞くと、みんなそれぞれが楽しそうに自分の食べたピーマンを周りに伝えていた。

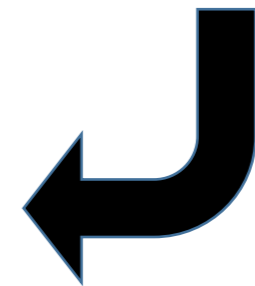
栽培に興味をもつ

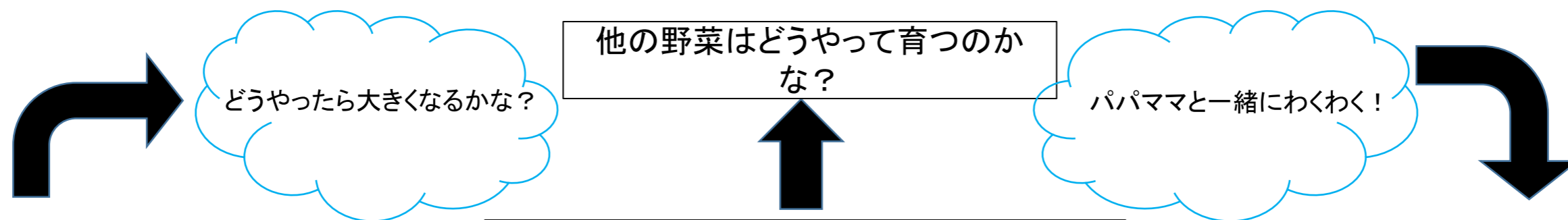


子どもたちが「ピーマン大きくなったかな?」と毎日水やりをすることを楽しみながら行っていた。一緒に水やりに行くお友だちともじょうろを譲り合い楽しく仲良く栽培を行うことができた。ピーマンの成長過程は、ドキュメンテーションなどに記録し、保護者にも共有した。



前日にピーマンの栽培をすることを伝えると、楽しみにしている様子だった。当日、職員からの説明をよく聞き、真剣な表情で苗を植えていた。ピーマンの苗ではなく、見本で見せた実を植える子もいた。苗を植えると、水をあげながら「おおきなあれ! おおきくそだて!」とピーマンの応援をしていた。





野菜を納品してくれる業者の方から、食育を行ってもらった。
 普段から食べている野菜、みんなで育てている人参も含め、いろいろな野菜に触れることができた。「つめたーい！」「かたかった！」「いいにおい！」等、それぞれ感じたことを伝え合い楽しむことができた。
 その後、野菜はどのように育つのかを教えてください、土、水、光(太陽)、微生物など大切なもの様々な必要なものを学んだ。収穫のシーンになると「うんとこしょ！どっこいしょ！」と声をかけながら参加していた。

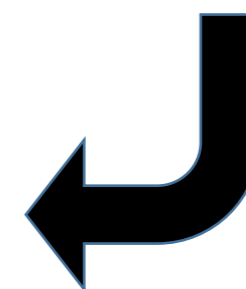
収穫の楽しさを知った

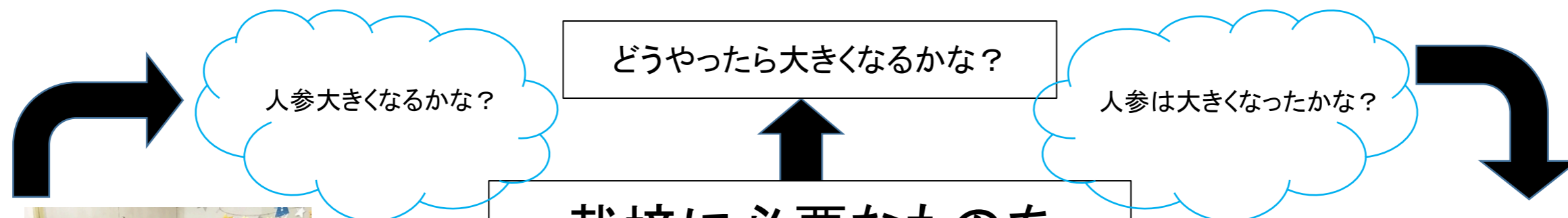


園長からさつまいもとさつまいものつるをもらい、段ボールにミニ畑を作り、芋ほり体験をした。
 さつまいもはどこにできるかな？という質問に、事前に絵本で学んだ「つちのなかー！」という答えを元気に答えていた。
 さつまいもはつるの下にできることを伝えると、みんなで協力して、長いつるを一生懸命どかしていた。
 土の中から出てきたさつまいもを持ち上げると、「おおきい！」「おもーい！」と言いながら、笑顔で楽しんでいた。
 後日給食にさつまいもが出た際に、芋ほりをした時の話をすると、「ほったやつ？」といつもよりもよく給食を食べていた。
 さつまいもの体験などは、ドキュメンテーションにも記載し、保護者にも共有した。



人参の栽培を親子クッキングの中で行った。
 保護者と共に種まきをすると、「人参の種、小さいね」「きらきらしてるね」と種の大きさや色を観察し、「大きなあれ」とたくさん種を蒔いていた。
 当日欠席の園児は登園日に種まきを行い、参加できない園児がいないようにした。





栽培に必要なものを学んだ



栽培している人参を観察した際に、「ごはんがたりないんじゃない？」という発言があったことから、人参にごはんをあげるためにコンポストを作ってみることにした。野菜の芯やヘタなども人参の栄養に変えられることを真剣に聞いていた。



人参はどのような形なのか、スーパーで売っている状態の人参を観察した。その後人参の型抜きを通して固さや断面の様子なども観察し、自分で型を抜いた人参を嬉しそうに保育者に見せていた。観察中に「固いね」と言っていた園児たちだが、型抜きも両手で力を入れないと型が抜けないことから人参の固さを感じていたように思える。型抜きをした人参を給食のカレーと一緒に提供すると、いつも以上に嬉しそうに給食を食べていた。



育てている人参の観察をした。先日の食育授業で大切と言われていた土や、生えてきている葉っぱも観察した。なかなか大きくなりえないねと保育者が話すと、「みずがたりないのかも！」「ごはんがたりないんじゃない？」と考えたことをそれぞれ話していた。

